

第8回羽村市生涯学習審議会における委員からの意見

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
古本 会長	全体		「基本計画」「基本方針」「基本施策」と「基本」が多い印象で、「基本施策」を「施策分野」としてはいかがでしょうか。
古本 会長	基本 施策1		基本施策1「子どもたちの育成」は、他の3項目と異なる発展的な文末用語ではないので、「子どもたちの育成環境整備」などではいかがでしょうか。
古本 会長	基本 施策3		基本施策3「多様な学習の充実」は、学習機会の拡大というよりは学びのバリエーションの話ですので、「多様な学習の展開」でいかがでしょうか。
古本 会長	基本 施策4		基本施策4「生涯学習を支える活動」も1と同じく文末調整をし、「生涯学習支援の充実化」でいかがでしょうか。
古本 会長	2	3	施策2文言調整提案「多様な子どもたちに対応した教育の推進」
古本 会長	4	8	施策4文言調整提案「地域人材が学びで活躍できる場の充実」
古本 会長	6	11	施策6文言調整提案「羽村ゆかりの芸術文化の振興」
古本 会長	8	15	施策8文言調整提案「生涯を通じた読書活動の推進」
古本 会長	9	17	施策9文言調整提案「現代的・社会的課題への積極的対応」
川津 副会長			なし
澤野 委員	基本 施策4		基本施策のうち4番は、1-3に合わせて動名詞で終わるように、「生涯学習の支援」としてはいかがでしょうか。
澤野 委員	4	8	日本語表現が気になりました。「若い世代がまちづくりや地域コミュニティを担う人材として活躍していただくことを目的に」→「若い世代にまちづくりや地域コミュニティを担う人材として活躍してもらうことを目的に」
澤野 委員	4	9	「高校生年代の「学び」の活動を地域に広げる」とは「高校生対象の学習内容を地域住民にも広げる」ということでしょうか？高校公開講座などを通して？なぜその「必要がある」のかがよくわかりません。
澤野 委員	4	9	8ページの現状の最後に「社会教育士」のことが書かれているので、課題の最後にも社会教育士の活用についても挙げておいてはいかがでしょうか。
田口 委員			なし
中川 委員			なし
大和田 委員			なし

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
葛尾 委員	全体		<p>前期基本計画の点検・評価及び成果について 770の事業を掲げ、各事業の目標値に対する実施結果は、達成率80%以上の事業が9割となり、それぞれのライフステージ別の各施策の成果が以下の通り記されています。取組み成果の出ているところは、引き続き取り組んでいただきたいし、成果の出なかった事業について分析し、今後の取組みの課題とするべきではないでしょうか。</p> <p>○乳幼児期・・基本的な生活習慣が身につくよう、また、心身の発達を促すよう支援し、保護者に対しては、安心して育児ができるよう、相談事業や子育てに関する情報の提供等支援をしました。また、家庭だけでなく地域・社会で子育てを支援できるよう様々な計画事業に取り組みました。</p> <p>○少年期・・学力が身につく、豊かな心が育ち、健康な身体の成長ができるよう支援しました。また、多様なニーズに対応した教育を推進するとともに、地域社会で学ぶ機会を充実し、併せて健やかな成長を支える環境の充実に取り組みました。</p> <p>○青年前期・・社会に巣立つための基礎作りを支援するとともに、地域との関わりが希薄にならないよう、<u>ふるさと意識が深まるよう</u>取り組みました。</p> <p>○青年後期・・家庭でも社会でも中心となって心身ともに健康に活動できるよう支援するとともに、多様なライフスタイルから自らの生き方を選択し、生涯を通じたキャリアアップができるよう支援しました。</p> <p>○壮年期・・社会経験を積んだ上でより充実した社会生活が送れるよう支援し、また、新たな生活ステージを視野に入れた<u>生きがいづくりと地域活動への参画</u>を支援しました。</p> <p>○高齢期・・健康で生きがいのある生活ができるよう支援するとともに、交通安全、人権、消費者問題などの社会的な課題に対応できるよう学習の機会を提供し、また、これまでの人生で培った豊富な知識や経験・技能を地域社会で還元できるよう支援しました。</p> <p>以上の取り組んだ具体的内容はどうかでしょうか？ 後期の取組み成果はどうかであったでしょうか。その分析結果が、今後の前期基本計画の基本施策に繋がっていくものと思います。</p>
葛尾 委員	2	4	現状の認識で、スマホの所有・ゲーム機の利用が一般化していることから、その正しい活用の仕方の指導またはガイドラインの提示が望まれていると思う。
葛尾 委員	3	7	基本計画の取組みで、「青少年健全育成事業等の実施」で、ふるさと意識を育む取組みを入れてほしい。具体的には、地域で行われているまつりごとへの積極的参加の推進。また青少年育成事業と環境学習については、具体的にどのような内容でどのように取り組むかが重要であると思うので、よく検討が必要と思う。
葛尾 委員	3	7	【現状】で次のような内容の文章を追記できないか。 地域社会で行われているまつりごとに参加体験し、地域社会との結びつきを育んできている。
葛尾 委員	3	7	【実施事業の方向性】に、次の内容の文章を追記できないか。 ○地域社会で行われている事業への体験学習 ※R2年度の市政世論調査の内容から、羽村の魅力・羽村らしさを感じる施設や行事の順位は、①羽村の堰②動物公園③花と水のまつり④チューリップ畑⑤はむらの水⑥玉川上水⑦多摩川⑧夏まつりですので、これらを羽村市の特徴として前面に出す等の取組みをする。
葛尾 委員	4	8	社会教育士とは?積極的にPRして、組織化して活動を広げてはどうか。

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
葛尾 委員	4	9	【実施事業の方向性】への追記 ○地域社会で活躍している方々への支援と活用
葛尾 委員	5	10	【実施事業の方向性】への追記 ○羽村市史等の冊子を作成続け広く伝えると同時に保存する。 ○観光ガイドの養成を図り、市民及び青少年へ広く伝える。 ○羽村市に関わる資料・図書等のコーナー図書館に設置し広く伝える。
葛尾 委員	6	11	施策名「羽村の芸術文化の振興」は「羽村での」では、または「羽村の」削除
葛尾 委員	10	19	基本計画の取組みへの追記 ○青少年関係団体への活動支援 ○地域活動団体への活動支援
山田 委員	全体		個々の基本施策・施策については特に意見がないのでまとめて一意見として記載します。 上手く伝わるか自信がないのですが、前回までで話をしていた基本方針の部分から今回の施策に落とした段階でだいぶ方針と施策の繋がりが見えてなくなった印象があります。 必ずしも同等のものではないのでそこにこだわる必要性はないのか、もしくはもっと施策の中で実際にどういった行事・講演などを行う際の方針として基本方針を捉えれば良いのかとも思うので、必須の事項でもないのかとも思います。 個人的には基本施策・施策はこのままで良いとしても、個々の施策の実施事業の方向性に一つずつでも良いのでもう少し具体的に基本方針を意識した内容を入れたいなと思いました。
橋本 委員	1	1	子どもが生まれ、子育てを通して社会と様々に繋がりができるのが通常であるが、それを望まぬ親・嫌う親もいる。市の事業で「乳児家庭全戸訪問事業」があるが唯一全ての母親と直接面接ができる機会である。育児困難や貧困など子どもをめぐる不都合な環境がある場合はそれを察知することができるのではないかと。 うちは大丈夫です、うちは結構です、という親ほど気になる場合が多い気がします。誰一人取り残さない学びの根本は、ここらから始まると思います。(私見です)
高松 委員			なし
河野 委員			なし
吉岡 委員	全体		議事内容説明【資料2】において、「この取組みの主たる担当課に対して、その現状と課題、そこから抽出される第二次計画案での施策の目指す姿と想定される事業をあげてもらいました。」と書いてありました。しかし、実際には、この順番での記載ではなく、【資料2】には、①後期基本計画の取組み、②施策の目指す姿、③現状、④課題、⑤実施事業の方向性の順で記載されています。そのため、内容が整理されていないように感じました。特に、「施策の目指す姿」の内容から、「現状、課題」へのつながりが、わかりにくいと感じました。例えば、施策2の4ページにある「施策の目指す姿」として「市立中学校における部活動の地域移行」について書かれていますが、「現状、課題」には書かれていないため、不自然に感じました。担当課に書いていただいた順で記載するか、または改めて「施策の目指す姿」の内容から、「現状、課題」へと内容を整理して書き直す必要があると感じました。

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
吉岡 委員	2	3	施策の目指す姿の1行目から6行目まで、一文が長いのでわかりにくい。
吉岡 委員	2	3～4	1番下の行にある「特に学習指導要領には～」の一文は、主述がねじれており、わかりにくい。
吉岡 委員	2	4	上から10行目に記載してある「市立中学校における部活動の地域移行」については、小学校における金管バンドも含めて示してほしい。理由は、顧問を担う教員が不足しているためである。そのため、「市立中学校における部活動等の地域移行」または「市立小中学校における部活動等の地域移行」などの記載にしていきたい。
吉岡 委員	2	5	【課題】の4行目に「いじめ・不登校の減少に向けた取組み」とあるが、減少させることが課題でよいのか疑問である。例えば、いじめは件数が多いことをもって、その学校に問題があるという考え方はしない。また、不登校も子どもの社会的自立を目指すことが大切である。そのため、「いじめ防止・不登校対策」と記載してはどうか。
新谷 委員			なし
成瀬 委員	1・2	1～6	羽村市では「子育て世代包括支援センター設置」「健やかな育児、食育に関する講座開催」「学び合う親子参加型事業」など行っているとのこと。 悩みや不安を抱え、どうしても孤立しがちな家庭や仕事で忙しい家庭など、待っていては支援が届きにくい。それをどう解決するか具体的に策を考えなければならない。地域の力で家庭や子どもを守るの言うまでもありません。周囲にSOSを出せない人がいること。 一人でも多く繋がっていることが重要であると思います。子どもたちはコロナ禍で、学校行事がなくなるなどストレスから精神的に落ち込む傾向にあると思います。大人が辛さを受け止める必要があります。子どものSOSに周りの大人が気が付くようにしていかなければならないと思います。
成瀬 委員	3・ 4・5	7～10	羽村市では地域性を生かして、大人も子どももこの地で5感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を使って自然の豊かさを感じ取り、私たちの命が自然に生かされていることに、気づかされると思います。そして羽村取水堰、土木遺産についてや玉川上水の歴史を学び、次の世代へと継承していき、羽村市の誇りや愛着を持てるよう、市民がしっかりと知ることが大事であると思います。
成瀬 委員	6	11	私は音楽に関わっていますので、生涯学習の観点から見てみます。 年齢や職業などの違いはありますが、音楽（合唱など）を一緒に創り上げていくことで、感動を分かち合うことができます。これによって、仲間意識が高められていくことは人と人とのコミュニケーションの広がりにとって重要である。これは生涯学習にとって重要な要素と考えられます。音楽（合唱など）を行うことで、どう自分自身に変化していくか。充実感、満足感、明るく自信が持てる。生活面にも影響し、ストレス発散、良い家族関係を生んで、メリハリができ、健康になる。生きがいや、楽しみ、まさに合致していると思います。コロナ禍で活動が思うようにできないのが現状です。収束を願うばかりです。
成瀬 委員	9	17	人生100年時代。「学び」は生涯で大切であり、キーワードであります。 専門的スキル、知識、人脈、人間関係、評判、健康、友人関係、パートナー、家族と良い関係、自分について知ること、新しい経験に対してオープンな姿勢、リンダ・グラットンさんに共鳴します。これからも更に専門を生かして、学んでいきたいです。健康でいること、活力、変身する力も養えるようにしたいと思います。

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
成瀬委員	10	19	スポーツセンター、コミュニティセンターなど老朽化した建物はまず安全にさせていただくことが大前提である。市民（人々）が、安全に学べる環境であること。市民の方々の活動状況を発信したり、必要な情報を得られるよう、見やすく、楽しくわかりやすいものを提供していただき、学習活動していく上での支援、学習環境の安全などを図っていただくことで、市民は生き生きと活動ができます。
中根委員	2		良くまとまっており良いと思いますが、施策2の取組みの項目が多すぎるような気がしました。もう少しまとめても良いのではと思いました。
中根委員	3	7	今はコロナウイルスの「感染症への対策」を必要とします。熱中症は毎年起こるものでわかりませんが、感染症に関しては、しばらくすると下火となる可能性があります、加えた方が宜しいのでしょうか。
中根委員	7	13	【課題】のところで、施設への改善の要望が毎年多数出ているので、「市民の要望が多様化しており、市民のニーズに合ったイベントや大会、施設の拡充を考える必要があります。」というのはいかがでしょうか。
鈴木委員			なし
田島委員	1	1	施策名の修正 「家庭教育の支援」という施策名であるが、内容は「子育てのための親への支援」となっており違和感を感じる。 「家庭教育」がすべての教育の出発点として重要であること。その環境を充実させること。子育てをする親の意識改革をする。などが目的であると思うので「子育て環境の充実と家庭教育の強化支援」とするのはどうか。
田島委員	2	3	追加案件（以下のような取組みも必要と思う） ・デジタル教育化に対応する教職員への研修、支援、などの環境整備、人員強化など （こども側の強化だけでなく教える側の強化も必要。一方で働き方改革による効率化もあるので、わかる人材を追加することでの対応も可。就職拡大にもつながる。） ・児童生徒性暴力等防止等への取組み（資料に「いじめ防止の取組み」とあるが同様にこれらも必要、検討の余地あり） （羽村市メール配信サービスで既に実施しているが、警察と連携して不審者発生情報を各学校に通知し共有、注意を促すとともに発見通報などの連携力も強化し犯罪撲滅を図る。安心できる学習環境のため。）
田島委員	2	3	コメント（できれば追加検討） 算数・数学を中心とした学力向上のための取組みとあるが、文科省で小学生向けに推奨している（優先的に専科指導の対象とすべき）教科は、外国語、理科、算数、体育である。なので必ずしも羽村市で取り組む「義務」はないが（追加で）考慮してもよいかと思う。 （参考） ・小学校1年生から英語教育の充実、などの取組みも（同じく3ページに）記載あるので取組みに矛盾がないようにする。 ・以前、羽村市（富士見小）では縄跳びが盛んで、福生市（三小）から生徒選抜で習いに来た経験がある。 （これこそ「羽村らしさ」の学びの1つであり、学びの復興でもあり、つながりでもある。） また世の中の的に子どもの体力低下が指摘されている背景と、オリパラ開催によるスポーツ充実の流れもあるのでに乗って見直す。 ・全世界的に「理系離れ」が問題となっている。 （その対策の1つとしてアメリカでは子ども世代に企業の実験室などを観覧・経験させる動きもある。CMでも実施。） 未来を予見して子ども世代から「理系」人材の育成を図る活動をもっと行うべきと考える。

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
田島委員	2	3	<p>コメント（できれば追加検討）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報教育の推進に含まれるのかもしれないが「プログラミング教育」は重要な項目である。 <ul style="list-style-type: none"> - 2020年：小学生にプログラミング教育必須化 - 2021年：中学生にプログラミング教育拡充 - 2022年：高校生にプログラミング教育必須科目 - 2024年：大学入試にプログラミング <p>学校授業においても、GBT形式（コンピューターをベースにしたテスト）の導入検討（2024年）など、市場動向を見据えた施策を早いうちに取り組んでいた方が良いと思う。</p>
田島委員	2	3	<p>質問および、コメント（できれば追加検討）</p> <p>「子どもたちの教育の推進」は、羽村市在住および通学（通園）している、幼稚園、保育園、小学生、中学生が対象となる施策なのでしょうが？</p> <p>→ 高校生や大学生への学習支援を追加することで「誰一人取り残さない学び」を実現する。</p> <p>市民の学習支援を行うことで、市民全体の学習能力の底上げを図る。学べる環境を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生へのプログラミング教育は必須、大学入試にもプログラミング採用などから、高校生への学習を支援する。（各高校などでは当然行うが、市内の学力底上げ対策として支援する） ・大学生への学習フォローも検討。 <p>（羽村市のHP内で学部教科毎のQA開設や、レポートや卒論などで調査する書籍を図書館で充実させてwithコロナにおける大学や外部図書館への利用を制限し感染予防する。市内の事業者や各企業などとの連携も強化して就職情報を展開）</p>
田島委員	全体	各施策ページ	<p>各施策が対象とするライフステージが不明確でわかりにくい。明確にした方が良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも1回目の実施計画書には（乳幼児期、少年期、青年前期、青年後期、壮年期、高齢期）と分類されていた。 ・基本方針1にある「誰一人取り残さない学びを展開」を実現するため、容易にチェックできる施策が良い。
田島委員	3	7	<p>施策名の修正</p> <p>「自らを高める体験学習」という施策名であるが、何を「高める」のかが曖昧でわかりにくい。</p> <p>ここでは、羽村市内にある地域資源を活用する「体験学習」を通じて、他人や社会とのふれあいにより自ら動き、体験して学んだことや経験から、社会性をはじめとした適応力、発想力、行動力を育むのが目的であると思うので、体験学習はあくまでも1つの手段でしかなく、「自ら学び自ら考える力」を学ぶ、伸ばす、ことが重要と思う。そこで、「自ら学び自ら考える力の育成」とするのはどうか。</p>

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
田島委員	3	7	<p>コメント（できれば追加検討）</p> <p>羽村市内にある地域資源を活用するのであれば、既存案にあるような「自然環境を活かしたもの」だけでなく「工業的あるいはITやDXに絡むもの」が「体験」できるようになると良い。（既存のマンネリ化からの脱出、時代に即した対応の取り込み）</p> <p>羽村は青梅線沿線で最も工場などが多いのでそれらとも連携できるとよい。 （羽村市の小学校では、日野自動車や富士見公園に設置している健康器具の製造工場などの見学などは実施している）</p> <p>例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造ラインの仕組みや無人の機械制御を一括管理方法など（プログラミング教育に通じる学習ができる） ・青梅ですが、もしAmazonの物流倉庫と連携が可能であれば、DB管理だけでなく物流DXなどの技術も学習する機会ができる（自然を守る、学ぶことも重要だが、子どもたちがこれから体験していくDXと早期に触れる重要性を考慮）
田島委員	4	9	<p>コメント</p> <p>「地域人材が活躍できる場の充実」は非常に重要かつ需要が高い項目と考えます。</p> <p>9ページの「課題」にも記載のある通り「はむら人ネットガイド」の利用が低迷している現状を打破する必要が急務。</p> <p>この対応策が8ページに記載の「人材バンク登録制度の活用」だと思うが、その検討をよく練ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の行動は「認知」してから「行動」するもの。なので広く認識させることが重要。 ・需要と供給がマッチすることも重要。相互発信が可能で必要な「学び」のマッチングができる仕組みを構築する。 ・withコロナなどの時代変革に追従して、オンラインセミナーなどでの開催が可能な環境。 <p>（例：手話など学びたいものが平日のAM中開催のみなど、手話を学びたい学生などは授業があるので学習機会を失う）</p> <p>時間と場所の制限をなくす仕組みとして、オンラインであれば「いつでも」「誰でも」学ぶことができる。</p>
田島委員	5	10	<p>追加案件</p> <p>取組み内容を見る限り「羽村市史」の活用や、既存の有形・無形の歴史遺産や文化遺産などを「見て」「触れて」「学ぶ」ことが主であるように思う。もちろんこのような「文化財の保護・継承」は当然あるが、これら文化遺産自体の「物理的な保護・継承」も必要であり、今後に向けて新規文化遺産の創出も狙うための活動もあると望ましいと思う。</p> <p>そこで以下のような内容も追加で検討するのはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産の構造理解、修復人材の育成。（文化財の匠プロジェクトに関連して、熟練の匠技を若い世代への継承） ・新たな文化財の登録や、文化遺産の創出などを推進。 <p>文化遺産としての登録基準からいくつか（検討可能な項目を）抜粋。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人類の創造的才能を表現する傑作。→ 傑作を生みだせる人材の育成、支援。 (3) 現存するまたは消滅した文化的伝統または文明の、唯一のまたは少なくとも稀な証拠。→ 調査分析人材を支援。 (4) 人類の歴史上重要な時代を例証する建築様式、建築物群、技術の集積または景観の優れた例。→ 伝承技術など。 <p>これら以外にも以下のようなものも追加検討するのはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会の中で以前話があったかと思うが、自分が子どもだったときの「遊び」などを後世にも伝えたい。 <p>世代間のつながりも強化することができる。「遊び」＝「学び」として捉え活用できると思う。</p>

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
田島 委員	6	11	コメント 施策の内容、課題認識、方向性など、基本的には良いと思いますが、「芸術文化」（スポーツなど）はコロナ禍において、鑑賞人数の制限や活動自体の自粛なども余儀なくされて、文化庁では、withコロナを見据えた「活動再開・再生に向けた支援」を実施する動きがあります。 市民の安心・安全かつ、サステナブルな活動、発表機会、など体験事業の実施検討において、今後の時代変化（パンデミックなど含む）に柔軟に対応できる視点も追加してみるのが良いと思う。
田島 委員	7	13	追加案件 「いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも」運動能力の向上、スポーツ活動ができる事業展開という方針であれば、障害者や、高齢者向けにも積極的に支援する取組みを検討するのが良い。 (参考) スポーツ庁では、障害者のスポーツ実施状況が低調であるとともに、成人一般に比べ障害者のスポーツ実施状況の改善が進まない状況にあることから、障害者特有のスポーツの実施に係る障壁の解消と、スポーツ施策の実施体制上の課題の解消を図ることが必要と考えている。2015年～2020年で「週に1日以上運動をする」比率の変化は、一般成人が（40.4%→59.9%）に伸びたのに対し障害者（7-19歳）で（31.5%→27.9%）、成人障害者は（19.2%→24.9%）である。 また人生100年時代において、高齢者への健康・運動支援は必須と考える。
田島 委員	8	15	コメント 全国的な読書離れの傾向にあることは認識済み。実施事業の方向性などもほぼ合意ですが、補足的に以下の共有をしたい。 環境変化（ニューノーマル） ・GIGAスクールの進展に伴い、一人一台端末の整備を踏まえ書籍のオンライン化（ペーパーレス化）が加速する。 ・withコロナによる、3密を避ける「新しい生活様式」が提唱されることも、オンラインの活用が加速する。 ・著作権法改正により、図書館資料のメール送信等が可能となるため、よりオンライン化に適する。 ・学校図書館や図書館など個別の事業対応から、図書館、学校、民間団体など幅広い関係者・機関が連携する動きが活性化。 以上のことから、今後求められること。 ・書籍のオンライン化、地元図書館と各学校（小中高大）、国立および民間図書館などのデータ連携による蔵書拡大。 ・図書館機能の見直し（現行の書籍管理業務）から（オンライン運用）への利用に対する「教育」環境の構築。 （利用者自身のオンライン取得能力の学び、教育者や人材育成のための学び、図書館業務の人材育成のための学び）など
田島 委員	8	16	コメント 記念日などと連携させた学習強化を図ることで、読書週間を底上げする。（本題ではないが活性化させる手段として） 例）4月23日「子ども読書の日」には、子ども（幼児、小学生、中学生）は1冊以上、図書館で本を借りると何かもらえるなど。 読書週間（10月27日～11月9日の2週間）は、大人も含め、全市民向けに2冊以上読書する（1冊/週）イベント開催など。

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
田島 委員	9	17	<p>課題や施策などが乱立し過ぎている。 他の施策に入れることができるものなどを整理して、ここでは「現代的・社会的」課題をもう少しわかりやすく明記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者スポーツ関連は、施策7へ ・ 情報化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ GIGAスクールをベースとしたIoT拡充に伴う、教える/教わる両面での学習支援。 ・ 社会のDX推進に取り残されない学習支援（例：スクールDX、スポーツDX、防災DX、など身近の問題に絡めた学習） ・ 国際化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期からの外国語に触れる機会を検討。小学校低学年から必須。小中学校の国際力の底上げ。 ・ KOSENの国際的な質を担保。特に重点3カ国（モンゴル・タイ・ベトナム）における高専制度導入支援などとも連携。 ・ 国内外での教育に関する交流活性化と、ICT活用した外国人向けカリキュラムの定着。 ・ 高齢化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康維持、認知力維持のための学習会、グループ活動の活性化。 ・ 再就職や地域活動などの拡充と、高齢者と若年層との相互教授による知識利用。 ・ 高齢者向けリカレント教育の活性化と、ICT活用した高齢者向けカリキュラムの定着。 ・ 地域活性化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業、事業所と連携した学習機会の充足 ・ 就労へとつながる学習支援や、人材育成 ・ 社会人向けの学び、別企業間の情報共有による新たな発見、創業機会への拡大。
田島 委員	9	18	<p>コメント 「現代的・社会的」課題であれば次のようなものも施策の中に入れてみてはどうか。 （以前の資料を見ると「東京2020オリパラを契機とした学習機会の提供」とあったので）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学制150年記念事業を契機とした学習機会の提供 （近代学校制度を全国的に整備した学制発布から、2022年で150周年を迎える。2022年9月4日） ・ レジリエンス教育のすすめ （パンデミック、雨や地震などの自然災害）（ボーダーレスライフ、家庭とプライベートの境目がない生活）（AI進化） といった世の中の変化に柔軟に対応する力、変化に強い耐性力、などを学び、自己解決できるようにする。
田島 委員	10	19	<p>コメント 施策内容について、前回の基本計画の施策とほぼ同様に思う。環境変化（withコロナ、高齢化の加速、自然災害多発、など）を考慮した内容になっていない感じがする。</p> <p>例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ withコロナによる極力3密防止。リアル活動よりもバーチャル活動（オンライン）の推奨に軸足を移動している中では、実施の充実よりもオンライン環境の充足が急務と思う。Wi-Fi環境の充実と個人端末の使用拡大はセットで実施。 ・ 高齢者による活動が今のままではさらに停滞すると予想されるのに対し「やる気」「活力」を起こさせる施策不足。 ・ 自然災害などでも継続して「学ぶ」ことができる環境を充実させる活動を強化するのがよい。

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
田島委員	10	19	コメント 「情報展開」および「情報収集」を確実にできるような施策も必要だと思う。 「自ら学ぶ気持ち」「様々な情報を集めることができる」人にとっては良いが、大半の人は「学びたい」という気持ちがあっても「具体的に何から始めればよいか」「どのように情報を入手するか」などがわからないのが実態だと思うので、それらを支援することが急務である。 「生涯学習コーディネーター機能の運用」は非常に素晴らしいと思うが、実際の活動が見えず（少なくとも私は活動していることを知らない）これらの活動見直し（今までの活動があればその時の課題などを改善する）をすることが重要と考える。 人による手作業だけでなく、AI活用なども考慮し、各人への最適提案などの工夫がこれからの時代には必要。
中条委員	2	5	課題に挙げられている地域コミュニティの希薄化についてですが、地域コミュニティ（町内会・自治会）は羽村市の良い部分でもあるので、維持継続発展していく必要があると思っています。しかしその対策としてコミュニティ・スクールの導入検討というのは飛躍している感じがします。 それより前に高齢化対策や減少する参加者対策、ひとり親や共働き世帯への配慮等を行い、活性化対策を具体的に講じてからのコミュニティ・スクール導入検討なのではないかと思います。
中条委員	7	13	いつでも・どこでも・誰でも・いつまでもは理想だが、特に誰でもという部分は企画するだけや場を提供するだけでは叶わないと思いますし、そこは誰一人取り残さないという意味でも最大の課題だと思います。
中条委員	10	19	各種団体等への施設の優先的な受付等に関しては良いと思いますが、まだまだ活動場所が不足していると感じています。場所に限りはありますが、提供依頼や新たな構築も含めて課題かと思います。
野口委員	1	1	とても良いと思った。ただ、家庭内だけでは子どもを育てることがもはや不可能なのではないかとの声も出ている現代の状況では、子どもは地域で育てるものという面もあるのではないかと思う。ファミリーサポートなどの制度をもう少し活用してもいいのではないだろうか。
野口委員	2	3	「算数・数学を中心とした学力向上のための取組みの推進」について、なぜ算数、数学を中心にするかの説明が欲しい。どの教科を学ぶにしても国語力は必須であり、どちらかという国語に力を入れるべきなのではないかと感じたため。
野口委員	2	3	「小学校 1 年生からの英語教育の充実」について。とても良いと思ったが、小学校一年生だとやや遅いのではないか。語学教育のゴールデンエイジは0歳から6歳と聞いている。また、小学校一年生からの英語教育とは言っても、実際に英語の習得に必要なだけの時間を英語に割くことは難しいのではないかと思う。ある程度成長する前と後では効果的な語学教育の方法は違うが、中学校の授業で文型を教えるなど年齢に合わせた語学教育が求められるのではないだろうか。
野口委員	7	13	「市民の要望が多様化しており、市民のニーズに合ったイベントや大会を考える必要があります。」とあったが、そういったイベントや大会は市民自身が考えるべきであり、市が行うべきはイベントを開く市民への援助なのではないか。多様化したすべての要望を行政がかなえることは不可能なのではないかと感じた。
野口委員	8	15	「コンビニエンスストアでのリクエスト本の受取り研究」とあったが、とても良いと思う。分室は開館時間がとても短くなかなか受け取りに行けないため。
野口委員	10	19	「Wi-Fi環境の整備」について、とても重要であると思う。その空間でインターネット端末を使う目的や使用する端末は何かということを考えるべきである。例えば、図書館でWi-Fiを使用することができれば図書館資料を閲覧しつつ自分のパソコンでJapanKnowledgeなども使うことができるため、優先的に設置するべきである。

委員	施策 No.	ページ	意見・感想等
堀 委員	1	1	家庭教育の支援では保護者への支援が大変重要と考えます。 また、コロナ禍での生活が今後子どもたちにどのように影響し現れてくるか大変心配しています。生涯学習の範囲ではないのかもわかりませんが、行政としてフォローしていただくことをお願い致します。
堀 委員	2	5	「コミュニティ・スクール」の実施については、多彩な地域の人材を活用、連携を進めていくことを期待します。 PCを使った学習時間が増えることについて、学習の幅が増えるなどの成果、メリットとは別に、子どもの発達、成長に関して危惧をしております。継続的なPC使用による視力の低下や同じ体勢でいることによる姿勢への影響などです。 施策の1とも関連しますが、コロナ禍の生活で成長期の子どもの運動不足による体力低下も心配です。
堀 委員	4	8	【現状】2行目 市民ボランティアの中に「ゆとろぎ」がないのはなぜでしょうか？お教えてください。
堀 委員	4	9	【課題】に記載されている「はむら人ネットガイド」についてはむら人ネットの人材を講師とした事業を実施し、市民に受講、体験してもらうこともPRとして有効ではないかと思えます。また、会場もゆとろぎ等の公共施設だけでなく地区会館を活用することも一案ではないかと思えます。
堀 委員	6	11	【施策の目指す姿】「羽村市にゆかりのある芸術家・音楽家の活動を支援するとともに、その作品や演奏を身近に鑑賞できる機会の充実を図ります。」について、ぜひ実施をお願いしたいと思います。 ゆとろぎ等身近なところで実施されることで市民が芸術に触れ、親しむきっかけとなり、市民の芸術活動の推進につながることを期待できると思えます。
堀 委員	9	18	【実施事業の方向性】で、「市民活動講座の充実」とありますが、どのようなことを想定されたものでしょうか？現在考えられている範囲、または過去の実績がありましたらその事業名をお教えてください。